

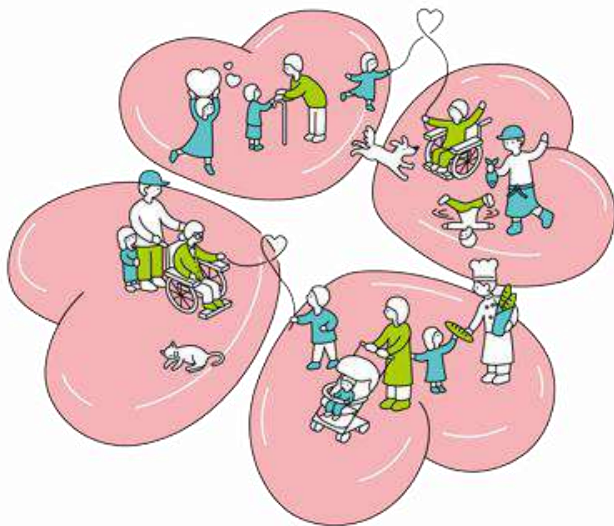
Think & Act

1. 食の安全を追求します。
2. 健康な食べ方を大切にします。
3. 国内自給力アップをめざします。
4. 遺伝子操作を行なった食物を認めません。
5. 有害物質ゼロをめざします。
6. 自然資源を大切に使います。
7. 温室効果ガスの排出削減をめざします。
8. 再生可能エネルギーを推進し、原発のない社会をめざします。
9. おたがいにたすけあう社会をめざします。
10. 誰もが安心して暮らせる場やしくみをつくります。
11. 自分たちで決めて、自分たちで実行します。

たとえ、ひとりの手は小さくても。
想いを分かちあう仲間がいれば、何かが生まれる、何かが動く。
安心できる食の国内生産を持続可能なものに。
再生可能エネルギーをもっと身近なものに。
誰ひとり取り残さない社会を実現するために。
意志ある生産者と消費者が手を組み、
循環と共生の輪を広げていく。地域や世代をこえ、
未来のいのちへ続いていく。
新しい仕組みづくり、私たちと一緒に始めませんか。



地域で支え合う仲間づくり



生活クラブの福祉・たすけあい8原則

生活クラブでは、急速な高齢化などの社会状況の変化を先取りしながら、市民参加型の福祉事業を展開してきました。「地域に置ける人と人のたすけあい」を大切に、希望のある持続可能な社会づくりへの挑戦を続けています。その基本となるのがこの原則です。(下記QRコードでアクセスしてください。)

私たち生活クラブ生協都市生活でも、この原則に基づいて以下のような福祉活動をすすめています。

生活クラブの福祉・たすけあい8原則
(アクセスするとPDFが開きます。)



組合員どうして

日常のちょっとした困りごとなどを保障する「エコロたすけあい制度」があります。組合員どうしがたすけあう生活クラブ独自のしくみです。組合員の関係づくりを応援します。組合員がつくる組合員のための制度なので、必要な保障を自分たちでつくり、変えることができます。2022年10月に制度改定を行い、より気軽に使える制度になりました。具体的な事例を次のページで紹介します。

地域での居場所づくり

超高齢社会の到来によって社会保障を始めとした公的サービスだけでは、生活していくのに心許ない状況です。地域と暮らしの課題は地域で、住民どうして解決していくことが必要となってきています。そこで大きな役割を期待されているのが居場所です。無縁社会と言われるほど、地域の間人間関係が希薄となっているいま、人と人をつなぐ場所が求められています。誰もがふらっと立ち寄れて、心おだやかに楽しく過ごせる居場所づくりをすすめます。そこでは助けるだけでも助けられるだけでもありません。それぞれに役割を持って生き生きと活躍できる、そんな居場所をめざします。

つながるローカルSDGs動画
がQRコードから視聴可能ですので、ぜひご覧ください。



2Pに続く



公式ウェブサイト

機関紙「都市生活」カラー版既発行分はこちらで。



Facebook ページ



Instagram



エコロたすけあい制度 ＝暮らしのケア＝



「エコロたすけあい制度」のメインである「暮らしのケア」
具体的にはどのような困りごとに対して使われているのか、ご紹介します。

2023年版「暮らしのケア」の事例紹介

- 家から指定の場所まで資源ごみを出す
 - 子どもが小さい家庭で、家の掃除を1時間ほどする
 - 兄弟の用事の間、待合室で子どもの見守りをする
 - 児童施設で子どもの見守りを2時間ほどする
 - 班購入したものを半日～一日預かる
 - 家を留守にする間、郵便物の片付けと植物の水やりをする
 - パソコン購入の同行とアドバイス
 - スマホの使い方に関して相談にのる
 - 小学生の子を夕方まで家で預かる
 - 体調不良時の保育園のお迎え代行
 - 家で掃除・食事の用意を手伝い、話し相手になる
- など (プライバシー保護のため内容は少しぼかしています)

1年間で依頼できる件数は12件までなので、月に一度と決めて利用している方もいます。

もともと知り合いどうしで行われるケア以外に、組合員コーディネーターが仲介して、行ける人を電話で探して成立するケアがあります。また、そこから何度か続いているケアもあります。

コーディネート時、登録者がエリア内におらず、残念ながら不成立になる場合もあります。

「自分一人の力で暮らしたい」けれど…

いざという時には誰かに頼りたい、その「誰か」は自分が信頼できる人がいいですね。エコロをきっかけに、似た価値観どうしの繋がりが一つでも多く、太くなればと思います。

暮らしのケア以外に、複数人で集まる「エコロサークル」「エコロ講座」も少しずつですが増えてきています。

制度を知らせる工夫

月に一度発行している「エコロレター」では、直近の事例はもちろん、コーディネートの説明、サークルの紹介など、毎月色々な角度から伝えていくよう工夫しています。

2024年1月から紙の色をオレンジ色にしました。支部機関紙と同じ週に入っていますので、ぜひ手に取ってみてください。



エコロレター



鶏キモ300g
440円(税込475円)

肝臓(キモ)・心臓(ハツ)が入っています。まず、色がとてもきれいで、新鮮な感じがよくわかります。

冷蔵ですぐ利用できるの、新鮮なうちに調理しましょう。あらかじめ洗浄してあり、処理もとても簡単で短時間で済みます。全体をかるく洗って、水気を拭きとります。キモとハツを切り離します。ハツの部分は、先の方にあるパイプ(血管)を切り落とし、半分に切って、血を除きます。キモの部分は、一口大に切る

だけです。そぎ切りにすると火が通りやすいです。

生活クラブの鶏キモは、植物性主体の餌を食べていて臭みが大変少なく、塩胡椒・ごま油で焼くだけで、とっても美味しいです。塩胡椒・ごま油で一度食べてみてください。鶏キモには、タンパク質や鉄分・亜鉛・ビタミンAなど豊富な栄養素が含まれているので、利用してみてください。(片山由香里)



Youtube で鶏キモの下処理方法を見る



つながれ！リレー生産者交流会 「アスケー石鹸」を開催しました



11/1(水)10~13時 @西宮市消費生活センター
参加者：7名、運営4名 主催：せっけんクラブ

アスケー石鹸(株)は1918年(大正7年)に創業し、「せっけん」にこだわり製造販売を行う生産者で、1973年(昭和48年)から生活クラブ生協との連携を開始しました。酸化防止剤や防腐剤などの添加物を使用していない「せっけん」「ハミガキ」「シャンプー」「アルカリ洗剤」など、「洗う」を助ける消費材を私たちに届けてくれています。

環境への影響に配慮し、せっけんの主原料となるパーム油は森林破壊、温室効果ガスの排出、労働者の人権問題などの多くの課題があるため、原料の一部を廃食用油由来に変更し、パッケージをコンパクトにしてプラスチック使用量の削減もしています。

交流会では、せっけんクラブメンバーから、せっけんの歴史は5千年前からで、環境や身体に優しく何でも洗うことができることを紙芝居で伝えた後、アスケー石鹸の木曾基之さんから消費材について、洗濯時のコツなどを教わり、つけ置き洗いの実演もありました。そして、硬水は泡立ちがよくないと聞かざりながら実際にはどうなのか？色々な地域の水を使用し、せっけんによる泡立ち比べ実験をしていただきました。イオン交換水(硬度0)、神戸、西宮、東京、明石、フランスのミネラルウォーター(硬度300)の順で泡立ちがよかったです。(写真参照)

参加者から、「せっけんの洗浄力の強さが分かりました」「泡立ち比べ実験は面白かったです」「何度か参加していますが毎回新しい発見があります」「教わった事をうちでやってみます」「掃除が楽しくなりそうです」などの感想がありました。



せっけん泡立ち比べ実験

生産者から直接話を聞くと何かしら得るものがありますね。みなさんもどんどん生産者交流会に参加してみてください。

(せっけんクラブ 遠嶋康代)

せっけんレシピ

洗濯用無添加せっけん(針状)

冬はセーターを着る機会が増えますね。暖かくてよいけれど、クリーニングの手間と費用が…とっていませんか？手軽に家の洗濯機で洗えるニットもあります！洗濯用無添加せっけんはアルカリ剤無添加なので、セーターやデリケートな衣類も洗濯できます。ウールは縮みやすいので注意し、衣類の洗濯表示をよく確認してチャレンジしてみてももちろん、手洗いならばより優しく洗えます。

<ニットなどを縦型全自動洗濯機で洗う方法>

1. 洗濯機に常温の水をためる。(ぬるま湯は縮みの原因にな

ります。)

2. 使用量の目安を参考に、洗濯用無添加せっけん(針状)をパラパラとふり入れて攪拌させる。
3. 衣類を軽く折りたたみ、ネットに入れてから、手洗い(おしゃれ着)コースで洗う。
4. 脱水は1分くらいでとめて、型崩れしないよう干す。



(せっけんクラブ 長原寛子)

支部のつどいを開催します！

生活クラブ生協都市生活では、エリアを10の支部に分けてさまざまな組合員活動を行っています。
毎年3月上旬に「支部のつどい」を開催しています。

支部の活動をみんなで確認！

「支部のつどい」は支部ごとに今年度の活動がどう行われたか、組合員みんなが出し合った支部活動費をどう活用したかを報告し、次年度の支部活動の額を決めたり、これからの活動をもっと充実したものにするために意見を出し合うなどして、支部の活動を確認しあう大切な場です。

代議員になって参加しよう！

支部のつどいの参加者を代議員と呼び、一緒に支部の活動の事を考えます。組合員なら誰でも代議員になれます。自分の所属している支部のつどいに参加し、意見や感想を出し合いよりよい活動にしていきたいと思います。

つどいの後には生産者交流会をはじめとしたさまざまな企画を用意しています。詳細は支部機関紙で案内していますので、ぜひ申し込んで参加してください。



2023年3月3日、姫路支部のつどい。議長の進行のもと、議事が進められました。つどいのあとは生産者交流会で、地元の「高千穂漢方研究所」と交流しました。



支部のつどい 一覧表 (予定)

日付	支部	会場	企画
3/1(金)	宝塚	宝塚市立男女共同参画センター・エル会議室 4	生産者交流会「山名酒造」
	西神戸	なでしこ芸術文化センター アートスペース	生産者交流会「高千穂漢方研究所」
	姫路	城巽公民館 1F 会議室・2F 料理室	生産者交流会「珈琲工房まめ福」
3/5(火)	東はりま	ウィズあかし 802	生産者交流会「マルモ青木味噌醤油醸造場」
3/6(水)	尼崎	伊丹市児童会館こらくる 多目的室	生産者交流会「日本果実工業」
3/7(木)	北神戸	緑が丘公民館調理室 予定	エコロ講座「湊さんのお茶講座」
	南神戸	なでしこ芸術文化センター アートスペース	クイズ大会
3/8(金)	西宮	西宮市中央公民館	生産者交流会「精華堂霞総本舗」
3/11(火)	東神戸	中央区文化センター1102	スイーツ・テイasting座談会
	三田北神	三田市ウッディタウン市民センター	ライフプラン講座「新 NISA について」



100円のたすけあい

問合せ先：組織部(078-904-3260)中田

安心安全なたすけあいのために

これまでコーディネートに携わるなかで、また直接ケアに行ったときに、「ケア者が生活クラブの組合員であるという安心感」を依頼者から伝えられることがありました。エコロたすけあい制度は、組合員である加入者どうしが手を取り合って対等な立場で、支える側にも支えられる側にもなることができる制度です。

一方、コーディネート依頼の中には時折、ケア希望日時の急な変更や、ケア内容や時間がたすけあいの範囲を超えていると

11月 エッコロたすけあい制度利用状況

加入者	1,369 人	給付申請件数	15 件
給付金額	11,700 円	事務費※	7,100 円

エコロ講座開催 2 件

思われるケースもありました。このような場合は結果的にケア者が見つからなかったり、ケア者が負担に感じてその後の関係が続かない場合も有りました。急な困りごとの発生など、依頼者側が気持ちにゆとりを持ってない時もあるとは思いますが、依頼者、ケア者双方にとって「安心安全なたすけあい」のために、おたがいさまのたすけあいの趣旨をご理解いただければ幸いです。

(エコロコーディネーター 小山奈緒美)

※ 2Pでエコロたすけあい制度の特集をしています。

今年も開催しました!

3回連続 水車 ◀ ▶ ◀ ▶ 講座

住吉川の水車がつなぐ歴史とエネルギー

第 2 回

白鶴酒造資料館での講座。座学の後、高田館長の案内で資料館見学しました。



現地調査のため、ボランティア草刈り隊を募集の際は、ご協力くださいな!



第 3 回

講師の千種さんのお話の後、実際に遺構を見学。事前に草刈りをしたので、遺構の様子がよくわかりました。滝壺跡に潜って水車の大きさを実感!



自前の小水力発電所実現は断念

住吉川で小水力発電により自然エネルギーを作りたいと、2016年に「住吉川小水力発電所を実現する会」(現・自然エネルギーを地域で創る会)を立ち上げて活動してきましたが、資材の高騰や、電力固定価格買取制度の要件が変わってしまった事他、諸々事情が重なって、残念なことに実現を断念せざるを得なくなりました。

「神戸歴史遺産」の登録をめざす

しかし、その活動の中で、住吉川上流には、住吉に一大産業をもたらした自然エネルギーを生み出す水車の遺構、即ち、直径6メートルもの巨大な水車が回っていた「滝壺」や、石積み、水路など、何とか形を留めている複数の存在を知り、このまま埋もれさせてはいけない、という思いを私たちメンバーは強く持ちました。そんな折、神戸歴史遺産という制度を知り、地元の皆さんに広く知ってもらい、次代に引き継いでいく手段の一つとして、昨春、神戸歴史遺産の登録を新たな目標として、活動を続ける事を決めました。

今年も講座開催して学習と視察

今年度の連続「水車くるくる講座」では、往時の水車とその遺構の価値を、広く知ってもらいたいという目的で計画しました。しかし、第3回で視察する現地は、雑草や笹が繁茂して、遺構を隠してしまっており、そのままでは皆さんにその一部ながら、遺構の存在を見てもらうのは難しく、企画に先立って急遽草刈り隊を募集し、手刈りで除草を行いました。結果、2段、3段と積み上がった立派な石積みや滝壺を明らかにすることが出来て、草刈り隊一同、とってもワクワクしたものでした。

講座各回の感想から、結構水車に関心がある人がいて、当講座を楽しんでもらえたことがわかったり、「住吉川のごく近くに住んでいるのに、水車の遺構が残っているなんて全く知らず、とても良いものを見た、有意義な時間だった」と感激されたりと、嬉しい反応が多く、手応え充分でした。

今後、現地調査をして、水車跡、水路跡など、その所在をできるだけ明らかにし、今後末永く広く地元の人々に親んでもらうための取り組みも検討して、来年度の神戸歴史遺産登録をめざして活動を進めます。

(自然エネルギーを地域で創る会代表 大沼和世)

第 1 回「知る」10/14	講師のご都合で中止。
第 2 回「見る」11/18	(参加者 36 名 スタッフ 6 名)
「水車と酒造り」講師 白鶴酒造資料館館長 高田昌和氏	
第 3 回「たどる」12/16	(参加者 26 名 スタッフ 6 名 講師)
座学「歴史遺産としての水車遺構」と現地(住吉川)視察ハイク	
講師 千種浩氏(元神戸市文化財課課長)	



たくさんの方に参加してほしい！

今年度はコロナ規制が緩和され、ようやく組合員どうしが直接会って活発に活動できるようになりました。一緒に活動を楽しめる仲間を増やしたくて、様々な試みに挑戦しました。

支部活動では、つむぎカフェの開催日を毎月22日に固定することで、予定を立ててもらいやすいように、またパートや他の習い事と重ならないように配慮しました。また開催内容については、昨年度同様アンケートをとり、組合員の要望に添う形で活動しました。

「つむぎカフェ」

昨年度、親しみをもってもらえるよう名付けた「つむぎカフェ」(=支部ミーティング)では、スタート時に参加者がそれぞれの『おすすめ消費材』について話すのが恒例です。スタート間もない組合員はもちろん、10数年のベテラン組合員も「それ、知らなかった！」とメモを取ったり、一番盛り上がります。

その後続く学習会やビオサポタイムでも会話弾むので、とても大切な時間になりました。



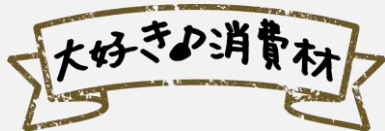
毎年、大好評の「味噌講座」

毎年2月に行う『世界にひとつのMy味噌作り』は家族参加の多い、大好評企画！今年は発酵つながり甘酒の楽しみ方もレクチャーします。



初めての方ももちろん、毎年参加する方も新しい発見がある会を作っていきたいと思っています。

(宝塚支部クリエイター 小椋やよい)



= まぜまぜわかめ =

(30g) 335円(税込362円)



わかめ大好きな子どもが小さい頃から、わが家の定番品です。常に2〜3袋ストックがないと落ち着かないほど日々活用しています。基本は炊き立てご飯に混ぜるだけ、と手軽なのがありたく、おにぎりで冷たくなっても塩気がほどよくて美味しいです。市販品だとシンプルな材料の割に添加物たっぷりだったりするので…生活クラブで安心して食べ続けたいです！

ふりかけなだけあって、はじめから細かく刻まれているので、離乳食後期にも使えます。お粥に混ぜるのはもちろん、さっとお湯で戻して挽肉や水切り豆腐に混ぜて焼いたり、アレンジしやすく助かりました。手間抜きしたい時にもびったりで、切っただけのきゅうりや大根に和えたり、フリーズドライの味噌汁にちょい足したり(塩分注意。先に湯戻ししても◎)。

普通のわかめの出番が減ってしまうほどですが、ありがたいいただいています！ (宝塚支部クリエイター 西森里香)

今月の組合員

加入のきっかけは「カンブリア宮殿」

吉谷 陽子さん 宝塚支部 2018年8月加入

加入したきっかけは2018年のテレビ番組「カンブリア宮殿」。びん入りのケチャップがとても新鮮に感じました。

加入当初は購入のみでしたが、消費材や利用方法など詳しく知りたくて、支部ミーティングへ出席。組合員が自ら考えて支部の組合員に向け、さまざまな取り組みをしながら活動していることに驚きとワクワクがありました。

声をかけてもらったことがきっかけで、つむぎカフェや子育てサポーター養成講座にも参加し、今では会議など活動にも参加しています。

わたしの小さな選択の一步が、自らの豊かさ・家族の豊かさにつながり、身近な地域をはじめ地球・宇宙の豊かさに貢献していけたらうれしいです。

徒然都市生活

組合員との交流が支えるこんにやくづくり

生活クラブ生協都市生活は1986年設立。今年で設立37年になります。今年度は設立当初から現在に至るまで、活動してきた仲間に「都市生活の今・昔」を語ってもらいます。

(有)大矢商店 4代目 大矢浩二さん

＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋

生活クラブ生協都市生活さんのお取引は、およそ35年前に神戸市北区にある山垣畜産さんからの紹介で始まりました。

当時弊社では、量産が可能なこんにやく芋粉末から作るこんにやくと、生産者の栽培方法がわかる安全な在来種のこんにやく芋から作る生芋こんにやくを作っていました。



(上)2018年、西宮支部の交流会で。
(下)2006年、北神戸支部モニット研修で訪問。3代目大和弘さんと。



4代目大矢浩二さん(左)と3代目大矢和弘さん(右)

私は2005年に大学卒業後から本格的に働きましたが、量産のこんにやくはわずか1日で1万2万個とたくさんの商品を作れてたくさん売れるので、なぜ手間暇かかって製造が難しい生芋こんにやくをわざわざ作るのか理解出来ませんでした。

そんな中、自分の考えが大きく変わったきっかけが『あいたくて都市生活』でした。そこではたくさんの組合員の方から、直接お礼や応援の声を頂き、ハッと目が覚めたのでした。

それからは、製造工程による味や風味の違いに気付き、利用して頂く組合員の方々を思い浮かべながら消費材を作るようになり、今では素材を見極める力が少しずつですが向上してきたように思います。

組合員と加工生産者の交流関係が今後も続くように、加工生産者も農産物生産者と交流関係をこれからも大切にして、貴重な在来種のこんにやく芋を守っていききたいと思います。

理事会報告

2023年度第8回理事会報告 2023.12.25.10:00~14:54 於:中央区文化センター

出席理事:19名、出席監事:3名

冒頭、監事会より期中監査報告(会計監査)を受けた。

以下、報告承認事項(6項目省略)と協議決定事項(3項目省略)

1. エッコロたすけあい制度給付審査は、エココロ審査会にて11月申請分15件中、15件承認。
2. 生活クラブ関西運営委員会の会議報告を受け、内容を確認。
3. 組合員活動費予算執行状況(中間決算)を確認。
4. 生協祭あいたくての総括と次年度開催への申し送りを協議決定。
5. つながれ!リレー生産者交流会の総括と次年度への申し送りを協議決定。
6. 2024年度第38回通常総代会開催関連事項について承認。
7. 2024年度活動方針策定議論の進め方について承認。
8. 「生活と自治」登録キャンペーンの提案を受け、原案通り承認。

(会議報告)

生活クラブ連合会の機関会議、各担当理事会、TCC理事会の会議記録をもとに共有。

(事業報告)

11月度決算報告を確認した。供給高は予算比99.4%、供給剰余率も予算を下回った。経費執行は予算比100.7%と予算を超過。経常剰余は予算比▲113万円となった。11月度加入は92人、脱退は86人、純増数は計画を上回った。

都市生活 Q&A

Q 「おたすけ追加」ってなんですか？

A 固型せっけんやハミガキ粉、洗濯用せっけんなど無いと困る消費材。「あっ!

ない!」そんな時に、申し込みの翌週に配達便で届けてくれる取り組みが「おたすけ追加」です。

取り扱っている消費材は、大徳醤油の丸大豆しょうゆ(濃口・薄口)、せっけん類、プレーンヨーグルトのフタ、食器洗いのスポンジ、せっけん用計量スプーンなどです。

注文は、年に4回ほど届く「おたすけ追加申込書」を配達職員に渡すかFAXするか、「おたすけ追加の注文です」とセンターに電話してください。

※在庫切れの時もあります。「おたすけ追加」の特性上、1品目1点でお願いします。

本部センター: TEL 078(904)3381 FAX 078(904)3382

豊共園へ産地訪問しました！

12月11日に、和歌山県海南市にある「豊共園」を組合員理事7人、職員1人で訪問しました。

「豊共園」は、温州ミカンを中心とする柑橘類を生産する梶本元文さん、宮本善史さん、前山敏浩さんの3軒の農家からなる生産者グループで、もともとは親世代にエスコープ大阪との取り組みからスタートした古参の生産者です。

減農薬、有機肥料にこだわった栽培で「コクのある味わい深いミカン」を

現地では、代表の梶本さんに、見上げるような山肌の傾斜地にあるミカン畑を案内してもらいました。慣れない私たちだと足を踏ん張っていないと転げ落ちそうな急勾配で、こんな場所でミカン栽培・収穫の作業をされているんだと、想像以上に大変な重労働であることに驚きました。

海に近い土地柄で有機肥料として魚かすや牡蠣殻を使い、最小限の農薬(1年に1回の除草剤)のみで大切に育てられています。

異常気象との闘い

近年、毎年のように異常気象が起こり、病害虫の発生や収穫量の減少要因になっています。今年は特にカメムシの被害が深刻です。カメムシが樹につくと味実が落ちるため、「よやく・る」で出荷予定だった温州ミカンも収穫量が減少して届かないことも起きました。また、柑橘の病害虫として知られるゴマダラカミキリも、ミカンの樹の根元に幼虫を見つけてはひとつひとつ手作業で退治するしかないのが現状です。



昼食から合流した宮本さんも加わって交流した後、カメムシの被害が大きかった園地も見せてもらいました。



急勾配傾斜地にあるみかん畑を視察しました。



ゴマダラカミキリの幼虫の食害にあった樹の根元。



私たちが出来ることは「食べること」

ミカン栽培には厳しい天候が続く中で奮闘されている生産者を私たちが応援出来ることは「食べる」ことです。これからは晩柑のシーズンです。ネーブル、はっさく、はるみ、不知火…実に10種類もの晩柑が3月末まで登場します。大切に育った味わい深い柑橘をぜひ注文して食べてみてください。

(理事 森田裕美子)

職員こぼれ話

組織部

小松 高志

生活クラブ生協の職員が、日ごろの業務、身のまわりのできごとを通して見たもの、聞いたことをお伝えします。

居場所づくりに思うこと

人が集い・心を通わせ・つながり合う事を目的とした「居場所」づくりが、いま全国で静かな広がりをみせています。地域住民によるボランティアな活動ですが、定年退職したシニア世代が「地元自身の居場所」を見出すべく始めたら、ボランティア活動の面白さに開眼し、そのうち「居場所」を拠点に困りごと解決のお手伝いまで始めた、などという事例も少なくありません。(例えば独居高齢者宅のゴミ出しや電球交換など)超高齢社会にあって、世のため人のためと大活躍する熟年者たちの存在は心強い限りです。空き店舗や空き民家を活用したり、自宅を「居場所」として開放する方も出てきました。生活クラブ生協都市生活としても「居場所」づくりは福祉政策の重要な課題と位置づけ、その準備をしているところです。事務局の私もどのような「居場所」の誕生に立ち会えるのか、今からワクワクしています。

2023年12月号より

機関紙モニターのつぶやき

徒然都市生活 30年前は月一回の注文…

30年前は月一回の注文…そうでした。注文に時間を取られ、働いてる人には難しい…。今はカタログに消費材の写真や生産者の顔も載り、よりわかりやすく便利です。もっと加入者が増加して、こんなおいしい消費材を知って欲しいです。安心安全な食品を食べて、命と環境を守ります。(西神戸 わかちゃん)

編集雑感

2024年は大変大きな地震「能登半島地震」から始まりました。

一番の厳冬期に避難生活を送られている方々の体調が案じられます。私たちが出来ることとして復興支援カンパに取り組んでいます。カタログと一緒に配布されたチラシをごらんください。29年目になる阪神・淡路大震災の教訓は、これからも心に刻んで暮らしたいものです。(T)